

2009.04.27／総務企画委員会

(かのう) 貴重な御意見，ありがとうございます。

飛行機マニアの狩野と申します。よろしく申し上げます。

私も，昭和60年，JALの自社養成パイロットを受検させていただきました。ありがとうございました。

それはいいのですが，まさに茨城県に今足りないことは，県民挙げての県民運動だと思っております。その辺につきましては，この委員会を中心に盛り上げていきたいと思っておりますので，またアドバイスいただきたいと思っておりますが，茨城空港の魅力の一つは，ローコストキャリアに目をつけたということでありませう。自走式，ボーディングブリッジが要らない。1階に集約して時間が早いということだと思っております。これが大きな魅力だと思っておりますが，このPRがまだ不足しているなという部分があるのと同時に，先生の方で，ローコストキャリアとして売り出すにはもうちょっと何かあるのではないかなど。私も考えているのは，その辺，何かあればアドバイスいただきたいなと思っております。

2番目として，今，アジアというか，日本の近隣の外国の航空会社にもいろいろアプローチしていますけれども，皆さんがこぞって言うのは，羽田が決まってからと言うわけですね。羽田が決まってから考えるということではわかるのですが，では，羽田が決まるまでの間，そういった航空会社に我々はどうのようなアプローチをしたらよろしいのか，その辺をいただきたいと思っております。

あともう一つ，飛行機がまだまだ日本人にとっては気軽な乗り物になっていないと思っております。まして飛行場も，先生がおっしゃるとおりに，空港の回りに何も無いとおっしゃっています。私は，飛行機はバスとタクシーと同じ，電車と同じで，乗り物であって，飛行場は駅だと考えています。そう思えば非常にコンセプトがわかりやすいと思っておりますけれども，その辺がないのですけれども，その辺，県民意識を高めていくには，もっと飛行機を身近なものにする，空港をもっと身近にするためにはどうしたらいいのか，この3点をアドバイスいただきたいと思っております。

以上です。

(かのう) 第2部は国内線ということで，この資料を見て，本当に納得している点が多すぎて，質問というわけにいかないのですけれども，9ページを見ても，いかに北九州に大手企業が集まっていて，その人たちがいかに東京と密に行き来をしているかなどということがよくわかりました。

では，これを茨城県に置きかえても，人口は全く違うし，この中でも，直接茨城県と関係ある企業というのは余り私は見つからないのですけれども，その中で，冒頭，委員長も修学旅行の話をしておりましたけれども，チャーター便ということになると，非常にコストの面からいろいろ大変だと言っております。

けれども、茨城県は本当に九州方面に相当修学旅行に今も行っております。

私もこのメンバーになったのは、何とんでも魅力ある飛行機とぜいたくな装備、かつ低価格、まして、福岡ダイエーの王監督の格好いい姿を見たかった。そういう点で、格好いい飛行機が来るというのも一つの魅力だと思うのです。

そういった中で、現実的に非常に難しいと思うのですが、茨城県の修学旅行生は九州によく来ているので、快適性を求めて乗ってほしいなというような形になるとすれば、茨城県がどのようなアプローチでスターフライヤーさんと一緒に茨城空港と九州を結ぶことができる可能性があるのか、その辺のアドバイスをいただきたいと思うのですけれども。

(参考人) 現在、当社もチャーター便の運航をしております。この連休中もやるのですが、これは北九州ー仁川を飛んでおるのですけれども、やっているのは、午前1時発で、朝の6時に帰ってくるというチャーターを運航しています。当然、4機しかない中で、昼間は目いっぱい使っておりますので、余裕がないというのが実態で、そういう時間帯であれば、それは可能性はあるのですが、ただ、私も存じ上げていますけれども、空港自体がそういう時間帯ではないということで、そうすると、昼間帯になると、今の段階では、定期便をやめてチャーター便に回さざるを得ないものですから、なかなかそれは今難しい。特に羽田空港は、そういうことをするともう枠を取り上げますよというふうに言われておりますので、現実的には難しい。

ですから、この先、拡張に合わせて、5機目、6機目、8機目とどんどん入れていきますので、その中で、機材というのは、昼間帯、例えば3時間ぐらい余っています。それをちょっと茨城まで行って帰しましょうかとか、そういう話は十分できると思いますので、開港にはちょっと間に合わないとは思いますが、将来的にはそういう話是可以できると思います。

ただ、今、JTBさんともいろいろお話をしている修学旅行の需要なのですが、これは、先ほど言いましたように、大体2年前ぐらいに既に決まるものですから、ある程度、こちらから、この時間帯、こういうのが余っているというのを提案をして、JTBさんとか、もちろん、近畿ツーリストさんとかいろいろありますが、お話ができれば、非常に固い需要ではあるのかなというふうには思っておりますので、すぐにはいきませんが、将来的には十分話ができるかなというふうには思っております。

(かのう) ぜひそういう方向で検討していただきたいと思ひますし、茨城空港の問題が開港時間なのです。8時から9時までです。今もアジアナ航空もそうなのですけれども、結局、1便、2便だとしても昼間なのです。そうすると、飛行機利用として半日つぶれてしまうわけです。行きと帰りで1日つぶれてしまう。修学旅行もそれが非常に厳しいということで別なところに行つてし

もうというのがあるのですけれども、その辺は茨城空港のこれからの課題だと思えます。

茨城空港は、24時間とは言いませんけれども、自衛隊との共用もありますので、なるべく早い時間から運航できるような体制になった暁には、ぜひ飛んでいただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。